



ご自由にお持ちください

日本赤十字社

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど



2017.6

Vol.32

普段の備えを万全に 災害に強い病院を目指して



地震などの災害時、現地で救護活動をする人をニュースで見たことがあるかと思います。赤とグレーを基調とした救護服を着た人々、それが全国に約7,000人いる日赤の救護班員です。

救護活動は日赤の使命であり、当院でその取りまとめを担当するのが今回ご紹介する「社会課」です。どのような活動をしているのでしょうか。中泉社会課長に聞きました。

◀ 救護活動に使用する資機材を確認する救護班員。月に一度欠かさずチェックしています。

災害へ対応する社会課

昨年4月に新しく「社会課」が発足しました。主な業務内容を一言で表すと「災害への対応」です。例えば、大地震のような災害時における救護活動の計画や実施に関する事、救護訓練や研修に関する事、救護活動で使用する資機材の管理などです。病院の防火・防災管理なども担当しています。

発足直後に起こった熊本地震災害

社会課が発足して間もなく起こった昨年の熊本地震災害。当院からは医師や看護師などから編成される救護班、心理的な支援を行うところのケア班、熊本赤十字病院の支援を行う職員の派遣を行いました。(詳しくは、2016年8月発行のあいのまど第27号に掲載。ホームページでご覧いただけます。)

この時社会課は、熊本県の災害対策本部から日赤本社、秋田県支部経由で伝えられた膨大な情報を整理しながら、救護班の派遣準備を行いました。現地の状況は刻々と変化するため、どのような状況であっても救護班が活動できるよう、入念な準備が求められました。その一方で、必要な情報が十分ではないこともあり、迅速に準備することはとても難しいものでしたが、各部署と協力しながら対応しました。

救護班の出動状況など救護に関する情報は当院ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

平時の備えをしっかりと

災害が起こってからすぐ救護班が出発できるように、普段から資機材を準備しておくことも大事な仕事です。どんな時期に、どのような災害が起こっても広くカバーできる汎用的な資機材をセット化しており、それらが揃っているか、使用期限があるものは期限切れしていないかなどを月に一度、救護班員と確認します(写真)。

中身は、診察に使用する聴診器、血圧計、ガーゼ、縫合糸、医薬品から、カルテ、トリアージタグといった文具類まで約200品目、スーツケース4個強!救護班は自己完結型が原則であり、必要な物品は全て持っています。



より実用的なマニュアルの策定を

最近では、当院が被災した場合に患者さんの命を守るために、職員がどのように行動するのかといった具体的な内容に踏み込んだ防災マニュアルの策定を進めています。いつ、どこで起こるか分からない災害。当院は社会課を中心に、その備えを万全に行っています。

検査

いろいろ

その2

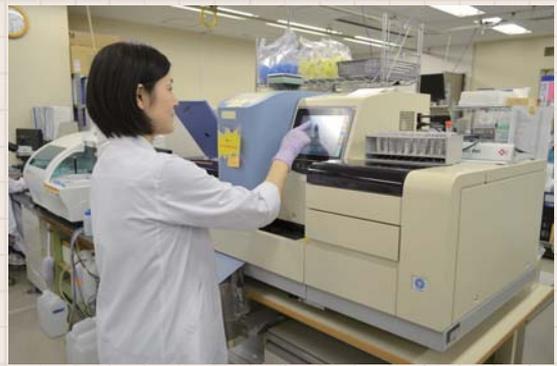


血液検査(循環器系)



臨床検査技師

むさか
六平 典子



循環器系の血液検査(トロポニンTとBNP)

循環器系の血液検査のうち、当院で検査を行っている代表的なものにトロポニンTとBNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)があります。

トロポニンTは心臓の筋肉に存在する蛋白で、心臓の筋肉がダメージを受けると血液中の数値が上昇します。主に心筋梗塞、不安定狭心症、心筋炎などで上昇します。

BNPは心臓の心室から分泌されるホルモンで、心臓に負担がかかると血液中の数値が上昇します。主に心不全や心筋傷害などで上昇します。

採血量と検査時間

どちらも2mlの採血で検査でき、採血後、トロポニンTは約30分、BNPは約45分で検査結果がわかります。

検査における注意点

どちらの検査も数値が高いからと言って、必ずその疾患であるとは言えません。心電図や心エコー、心臓カテーテル検査などと組み合わせて診断となります。心電図には、通常の12誘導心電図の他に、ホルター心電図、トレッドミル負荷試験などがあります。



病院を24時間見守る中央監視室

当院の施設管理・営繕業務を、職員3名と委託契約先の東北ダイケン7名(交代制)で対応しております。

病院の1階端にある中央監視室が事務所となっており、病院設備の稼働状況をモニターで確認し、異常の有無を監視しております。

また、電気、ボイラー、給水・排水設備などの点検、故障した設備の修理手配、法定点検の業者手配などを行っております。

病院の用務員として

病棟や外来などで、作業服を着たスタッフを見かける場合があるかと思えます。蛍光灯の交換や、水漏れした箇所の部品交換、トイレの詰まり解消など、学校の用務員さんのような仕事もしております。

直接患者さんから、「どうもありがとう」「お仕事、ご苦労さま」と声を掛けられる場合もあり、ありがたく思っております。

今後も、病院設備の安定稼働を通じて、病院内の快適な環境作りに励んでまいります。

おたより
Otayori



From

管財課 施設管理係長
水戸瀬 佳文

Yoshifumi Mitose

Profile

出身地
秋田市
趣味
散歩
三味線